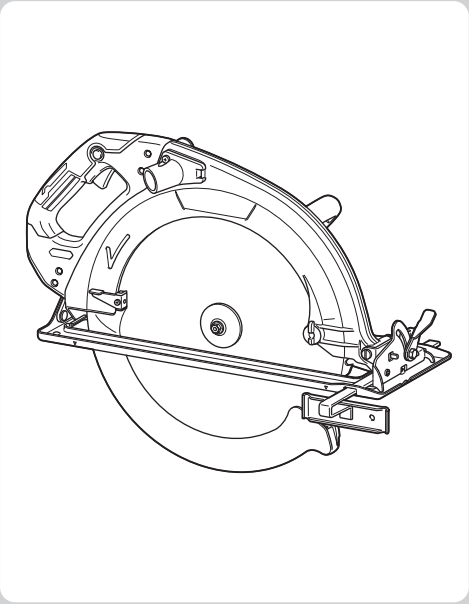
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

# 取扱説明書

# 415 mm 充電式マルノコ

モデル HS013G



このたびは415 mm充電式マルノコをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

## もくじ

### はじめに


主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 3
各部名称 …… 18
標準付属品の確認 …… 19
別販売品のご紹介 …… 20


### ご使用前の準備


バッテリの充電 …… 21
バッテリ／充電器の取り扱い …… 22
使用前に知っておいていただきたいこと …… 23


### 使い方


ノコ刃（チップソー）の取り付け／取りはずし方法 …… 26
バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 30
本製品の操作 …… 31
・各部の調整 …… 31
・スイッチの操作 …… 34
・切断方法 …… 35
・平行定規の使い方 …… 35
・ジョイントの取り付け …… 36
・集じんホース（別販売品）の取り付け …… 36
無線連動機能（AWS） …… 38
使用後の取り扱い …… 49
・本製品のお手入れ …… 49


### 保守／点検


故障かな？と思ったら …… 50

# はじめに

## 主要機能

| 主要機能＼モデル | HS013G |
|---|---|
| 電動機 | DC ブラシレスモータ |
| バッテリ（別販売品） | リチウムイオンバッテリ |
| | 対応バッテリの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。 |
| 電圧 | 直流 36 V（40 V max）※ |
| 回転数 | 2,100 $min^{-1}$（回転／分） |
| ノコ刃寸法 | 外径 415 mm ×内径 25.4 mm |
| 最大切り込み深さ（傾斜角度） | 158 mm（0 °）、106 mm（45 °） |
| 傾斜切断 | 45 ° |
| 防じん・防水保護等級 | IP56 |

※：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 製品の質量および寸法

| 装着バッテリ | 質量 | 本製品寸法<br>長さ×幅×高さ |
|---|---|---|
| BL4040F | 11.0 kg | 606 mm × 233 mm × 476 mm |
| BL4050F | 11.4 kg | |
| BL4080F | 12.0 kg | |

## 1 回の充電での作業量（参考値）

- 数値はノコ刃の切れ味、切断する木材の状態などにより異なります。

| 使用バッテリ | 材料（厚さ×長さ） | 作業量 |
|---|---|---|
| BL4040F | メラピ（150 mm × 300 mm） | 約 50 本 |
| BL4050F | | 約 76 本 |
| BL4080F | | 約 123 本 |

JPA002-65

# 安全上のご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

## 注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告**：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意**：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注**：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

# 充電式製品共通の安全上のご注意

## ⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
   - 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
   - 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
   - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
   - 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
   - アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
   - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
   - 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
   - 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
   - バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
   - 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
   - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
   - 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

## ⚠警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

## ⚠警告

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。
2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
・ バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
・ 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

## ⚠警告

**14.使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。**

- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

**15.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。**

- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

**16.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。**

**17.バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。**

- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

**1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。**

- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

**1. 損傷した部品がないか点検してください。**

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

## ⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

## ⚠警告

12.充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

| 太さ（導体公称断面積） | 長さの目安 |
|---|---|
| 2.0 $mm^2$ | 30 m |

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

JPB342-2

# 充電式マルノコ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式マルノコとして、さらに次の注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

切断作業に関する注意事項

1. 危険！ノコ刃や、切断している周辺と前後には手や顔を近づけないでください。
   - 回転するノコ刃が人体に触れると重大なけがの原因になります。
2. 切断する材料の下には手を入れないでください。
   - 材料の下はセフティカバー（安全カバー）で保護されないため、けがの原因になります。
3. 使用前に切り込み深さを材料にあわせて調整してください。
   - 材料の下から刃が見えるように調整してください。
4. 切断する材料を決して手で持ったり足で押さえたりしないでください。切断する材料は、安定した台に固定してください。
   - 刃物への手足の露出や、後述する「キックバック」を防ぐには、材料を適切に固定することが大切です。
5. 切断部分の近くに隠れた電気配線などがあるときは、切断や接触しないように十分に注意してください。また、絶縁されたハンドルだけを握ってください。
   - 電気配線などを切断や接触すると、本製品の金属部に通電して、感電の恐れがあります。
6. 縦に切断（縦引き）するときは、常に平行定規を使用してください。
   - 精度が向上するとともに、ノコ刃の噛みが低減されます。
7. 本書指定のサイズ･形状･取り付け穴のノコ刃を必ず使用してください。
   - 本製品の取付金具に合わないノコ刃は、偏心による制御不能を招く恐れがあります。
8. ノコ刃の取り付けは、指定の部品を用いて確実に取り付けてください。
   - 指定のフランジやボルトは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

キックバックの原因と対策

ノコ刃が加工材料に噛んだり偏心したときに、反動で本製品がせり上がり、作業者に向かってくることがあります。これを「キックバック」と言います。
ノコ刃が切り口に強くはさまれて止められると、モータの反動で本製品が作業者に向かって急激に押し返されます。
切断中にノコ刃がひねられたり偏心すると、ノコ刃後端の歯が材料表面をけり、ノコ刃が切り口から飛び上がって作業者に向かってはね返ります。
キックバックはマルノコの誤使用が引き起こします。以下は「キックバック」によるリスクを最小限にするための注意事項です。

## ⚠ 警告

1. 使用時は本製品をしっかり両手で保持し、キックバックに耐えるよう腕を備えてください。また、切断線と一直線にならないように身体を左右どちらかによけて位置してください。
2. 刃物が切り口にはさまったり何らかの理由でノコ刃が止まった場合、スイッチを切ってノコ刃が完全に停止するまで本製品を動かさないで保持してください。ノコ刃が動いている間は、ノコ刃を切り口からはずしたり、本製品を後ろに引いたりしないでください。
   - ノコ刃が動いている間に切断方向以外に本製品を動かすと、キックバックを招きます。
   - ノコ刃が完全に停止してから、ノコ刃がはさまった原因の確認と対処をしてください。
3. ノコ刃が材料の中にあって本製品を再始動するときは、ノコ刃が材料と噛み合っていないことを確認してください。
   - ノコ刃が噛み合っていると、本製品を再始動したときにキックバックが起こります。
4. 面積の広い材料を切断するときは、材料の両端と切断部分の近くを固定してください。
   - 両端と切断部分を支持することで、材料が自重でたわむのを防ぎ、キックバックを減らせます。
5. 損傷や摩耗の激しいノコ刃は使用しないでください。
   - 鋭利でない、または正しく取り付けられていないノコ刃を使うと、切り口が狭くなり、摩擦でノコ刃がはさまれたりキックバックしやすくなります。
6. 使用前に切り込み深さ調整用レバー、角度調整用レバー、角度調整用ツマミネジが確実に固定されていることを確認してください。
   - 切断中にノコ刃の深さや角度が変わると、ノコ刃がはさまれるまたはキックバックの恐れがあります。
7. 壁のように裏側が見えない箇所などを切断するときは、特に注意してください。
   - 裏側に出たノコ刃が、キックバックを招くものに触れる恐れがあります。

セフティカバー（安全カバー）に関する注意事項

1. ご使用前に、セフティカバー（安全カバー）が適切に閉じることを確認してください。セフティカバー（安全カバー）が自由に動かない、または瞬時に閉まらないときは、本製品を使用しないでください。決してセフティカバー（安全カバー）を開けた位置で固定したり取りはずしたりしないでください。
   - マルノコを不意に落としたときに、セフティカバー（安全カバー）が曲がることがあります。そのときはセフティカバー（安全カバー）のレバーを操作して、セフティカバー（安全カバー）が自由に動き、すべての切り込み深さや角度でノコ刃やその他の部品に接触しないか確認してください。

## ⚠警告

2. セフティカバー（安全カバー）のバネの動きを確認してください。もしセフティカバー（安全カバー）とバネが正しく動かないときは、ご使用前に修理をお申し付けください。
- 部品の損傷や粘着物、切りくずの堆積により、セフティカバー（安全カバー）が瞬時に閉まらなくなることがあります。

3. セフティカバー（安全カバー）は特殊な切断時以外は手動で操作しないでください。材料との位置関係の都合でセフティカバー(安全カバー)が自動的に開かない場合だけ、セフティカバー（安全カバー）のレバーを最小限引き上げてください。ノコ刃が材料に入ったらすぐにレバーを放してください。
- それ以外の作業ではセフティカバー（安全カバー）を手動で操作しないことで、ノコ刃への接触の恐れを低減できます。

4. 本製品を作業台や床などに置くときは、ノコ刃が停止してセフティカバー（安全カバー）で覆われていることを確認してください。
- スイッチを切った後もノコ刃が慣性によりしばらく回り続けます。
- ノコ刃がセフティカバー（安全カバー）で覆われ完全に止まる前に本製品を置くと、本製品は後ろに走り、途中にあるすべてのものを切断します。

5. セフティカバー（安全カバー）は絶対に固定したり、取りはずしたりしないでください。また、セフティカバー（安全カバー）が円滑に動くことを確認してください。
- ノコ刃が露出した状態は、けがの原因になります。

その他の注意事項

1. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲のノコ刃を使用してください。また、刃底径が 360 mm 以下のノコ刃は使用しないでください。
- けがの原因になります。

2. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出ししろの 3 倍以上にしてください。
- このような台がないと、けがの原因になります。

3. 本製品を万力などで保持した使い方はしないでください。
- 不意の接触などで、けがの原因になります。

4. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

1. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本製品の振動やノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があるとけがの原因になります。
5. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
6. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
7. 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。
・ けがの原因になります。
8. 回転させたまま、作業台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
10. 切断砥石を使用しないでください。

JPB257-2

# ワイヤレスユニットの使用上のご注意

集じん機に内蔵されているワイヤレスユニットは取りはずしはできません。無理に分解などして取り出さないでください。

## ⚠ 警告

1. バッテリが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50 ℃を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
    - 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを取りはずして保管する際は付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押したり、先端の尖ったもので押したりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

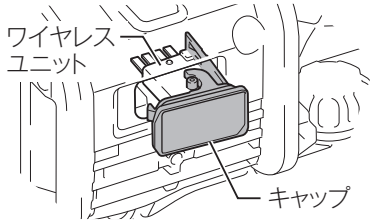
## ⚠ 警告

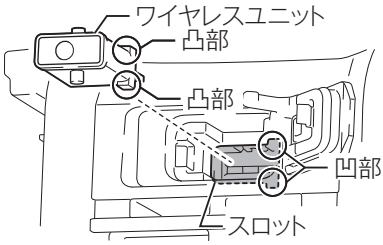
20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
- 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。

21. 無線連動の有効距離は約 10 m です。ただし、工具と集じん機の間に障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
- 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

## ⚠ 注意

1. ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの際は必ずバッテリを抜いてから行ってください。
2. ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの方法については使用する工具の取扱説明書を合わせて参照してください。
3. 工具側のキャップをあける際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
4. スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
5. ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
6. ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に挿し込まないでください。
7. キャップが開いた状態で使用しないでください。




※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

# IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP 5 6

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

| 保護等級 | 内容 |
|---|---|
| 0 ～ 3 | 省略 |
| 4 | あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。 |
| 5 | あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ/min）に対して保護されている。 |
| 6 | あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ/min）に対して保護されている。 |
| 7 | 水に浸しても影響がないように保護されている。 |
| 8 | 潜水状態での使用に対して保護されている。 |

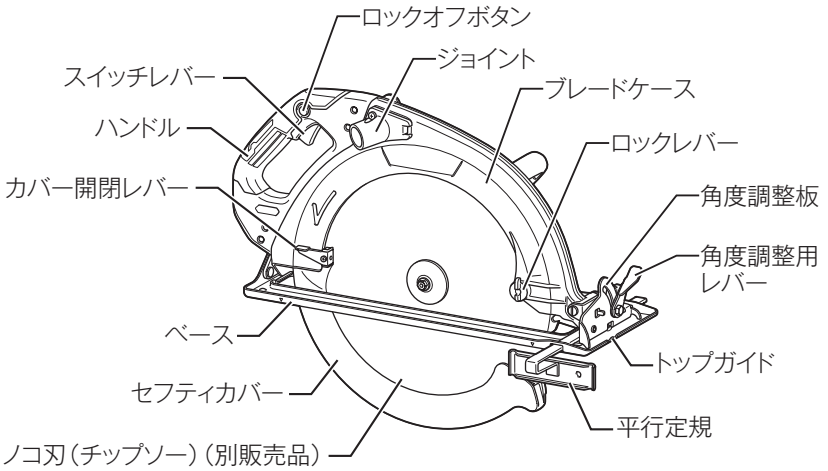
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

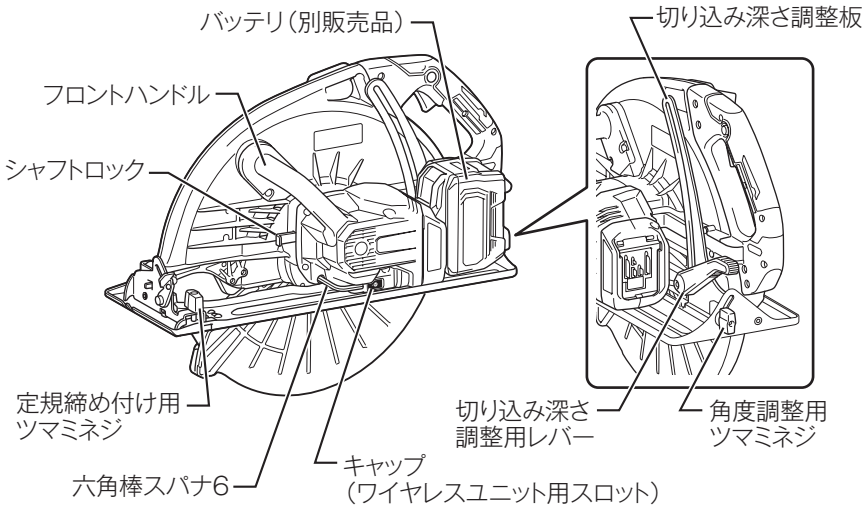
| 保護等級 | 内容 |
|---|---|
| 0 ～ 3 | 省略 |
| 4 | 直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。<br>針金での危険箇所への接近に保護されている。 |
| 5 | 防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。 |
| 6 | 耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。 |

## 注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- 過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具本体にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

# 各部名称


ロックオフボタン
ジョイント
スイッチレバー
ブレードケース
ハンドル
ロックレバー
カバー開閉レバー
角度調整板
角度調整用
レバー
ベース
トップガイド
セフティカバー
平行定規
ノコ刃（チップソー）（別販売品）


バッテリ（別販売品）
切り込み深さ調整板
フロントハンドル
シャフトロック
定規締め付け用
ツマミネジ
切り込み深さ
調整用レバー
角度調整用
ツマミネジ
キャップ
（ワイヤレスユニット用スロット）
六角棒スパナ6

# 標準付属品の確認

| モデル<br>標準付属品 | HS013GZ |
|---|---|
| バッテリ | × |
| 充電器 | × |
| 平行定規 | ○ |
| 六角棒スパナ 6 | ○ |
| ジョイント | ○ |

# 別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ チップソー（木工用）415 mm
部品番号：A-05804

・ プレミアムホワイト 415-50
部品番号：A-78798

・ 平行定規
部品番号：164019-4

・ ワイヤレスユニット（WUT01）
部品番号：A-66151
※無線連動機能を使用するには、ワイヤレスユニットと無線連動機能に対応したマキタ製工具と集じん機が必要です。

# バッテリおよび充電器

| 品目 | 品名 | 部品番号 |
|---|---|---|
| 使用可能バッテリ（容量） | BL4040（4.0Ah） | A-69939 |
| | ◎ BL4040F（4.0Ah） | A-73841 |
| | ◎ BL4050F（5.0Ah） | A-72372 |
| | ◎ BL4080F（8.0Ah） | A-73368 |
| 対応充電器 | DC40RA（急速充電器） | JPADC40RA |
| | DC40RB（2 口急速充電器） | JPADC40RB |
| | DC40WA（2 口充電器） | JPADC40WA |
| | DC40WB（充電器） | JPADC40WB |

◎：使用推奨バッテリ

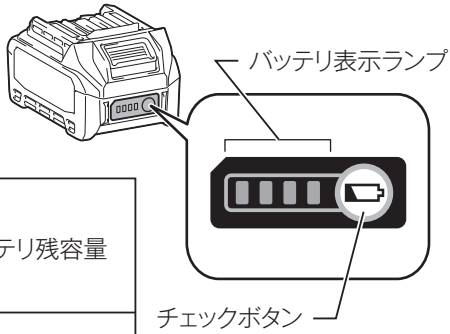
・ ADP10　充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリの充電が可能になるアダプタです。

## バッテリの充電

・ バッテリは別販売品です。

## バッテリ残容量表示

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。




| バッテリ表示ランプ<br>:点灯　:点滅　:消灯 | バッテリ残容量 |
|---|---|
| | 75 % - 100 % |
| | 50 % - 75 % |
| | 25 % - 50 % |
| | 0 % - 25 % |
| | 充電してください。 |
| | バッテリの異常です。 |

**注**

・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
・ バッテリ保護機能が働いた際は、左端のバッテリ表示ランプが点滅します。

## バッテリの充電方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

# バッテリ／充電器の取り扱い

・ バッテリ、充電器は別販売品です。

## バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

## バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

## バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

## 充電器の点検・修理・保管方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

# 使用前に知っておいていただきたいこと

## 本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

| 保護機能 |
| --- |
| ・ 本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。<br>　・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電冷却をしてください。<br>　・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。 |
| ・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。<br>　・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。 |
| ・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。<br>　・ いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。 |

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（50 ページ参照）に従って点検してください。

# 各種機能

## ■ ブレーキ機能

・ スイッチを切ると、電気的に回転を止めます。ただし、バッテリの残容量が無くなったり、スイッチを入れたままバッテリを抜いたりした場合は機能しません。

## ■ ソフトスタート

・ スイッチレバーを引いたとき、反動をおさえスムーズに回転し始めます。

## ■ AFT（キックバック低減機能）

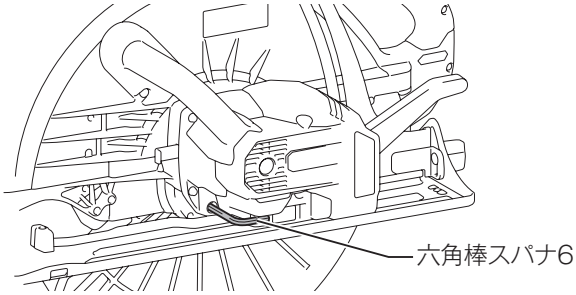
・ ノコ刃のはさみ込みなどによる異常が発生したとき、本製品は急激な回転数低下を検知して、自動停止します。
スイッチレバーを放し、バッテリをはずしてから急激な回転数低下の要因を取り除いてください。その後、再度スイッチを入れてください。

**注**

・ **本機能はキックバックそのものを防止するものではありません。**
・ **キックバックの原因と対策について必ず確認してください。**

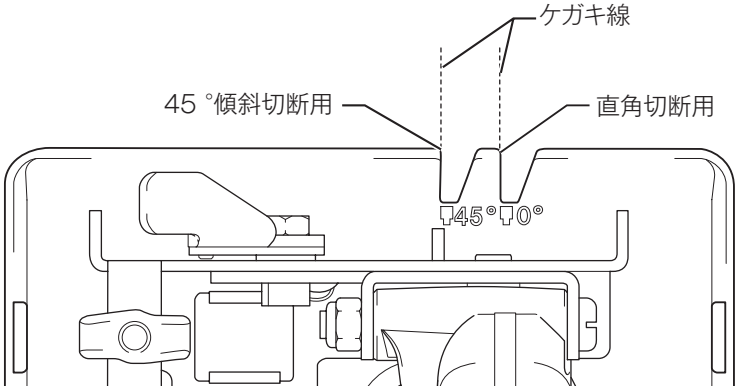
# 六角棒スパナ 6 の収納

・ 六角棒スパナ 6 を使用しないときは、図のように本製品に収納してください。



# トップガイド

・ 直角に切断するときは、トップガイドの「0 °」の刻印がある方にケガキ線を合わせます。
・ 45 °の傾斜切断をするときは、トップガイドの「45 °」の刻印がある方にケガキ線を合わせます。



## ノコ刃（チップソー）の取り付け／取りはずし方法

### ⚠警告

**ノコ刃（チップソー）の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。**
・ バッテリを差したまま行うと事故の原因になります。

### ⚠注意

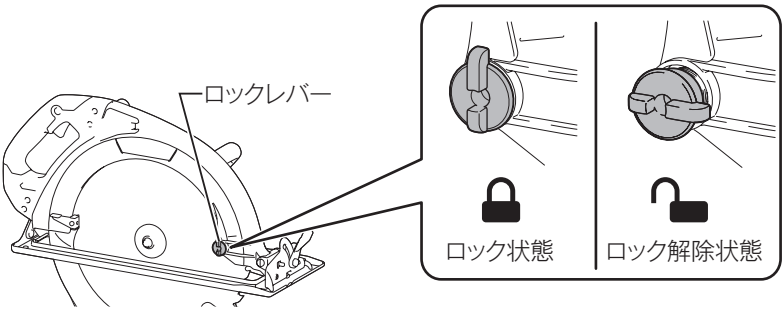
**ノコ刃（チップソー）を取り付けるときは、本製品に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。**
・ 矢印に合わせないとノコ刃の回転方向が逆となり、刃先をいためたり、けがの原因になります。

**ノコ刃（チップソー）の着脱は付属の六角棒スパナ以外の工具は使わないでください。**
・ 締めすぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

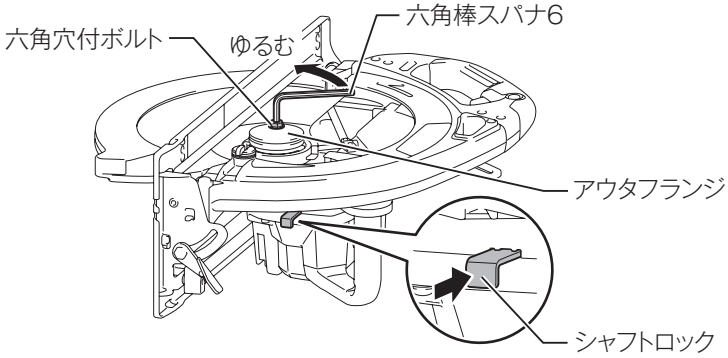
・ ノコ刃（チップソー）は別販売品です。

### 取り付け方

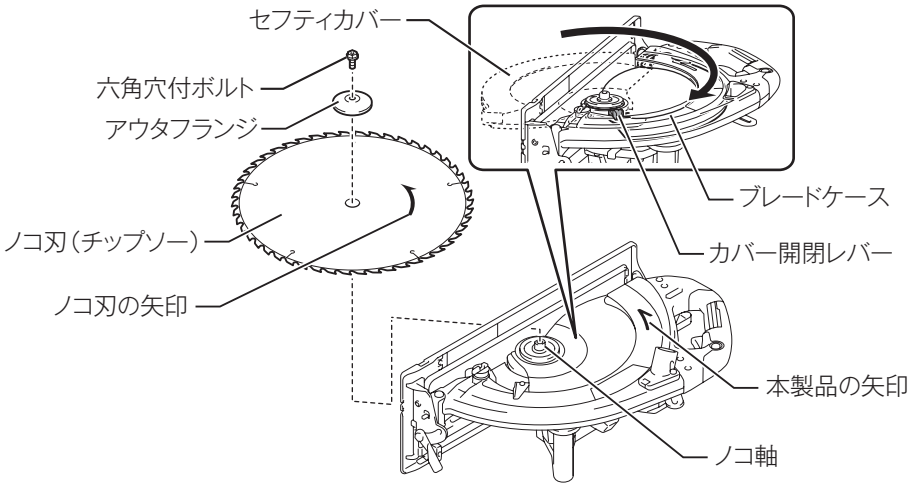
1. ロックレバーのロックが解除されていることを確認します。
・ ロックされている場合は、時計回りに回してロックを解除してください。



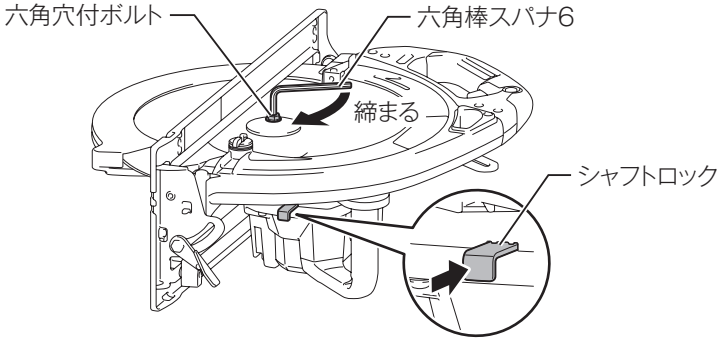
2. シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをします。
3. シャフトロックを押し込みながら、六角棒スパナ 6 を使用して、六角穴付ボルトを反時計回りに回してゆるめます。
4. 六角穴付ボルトとアウタフランジを取りはずします。



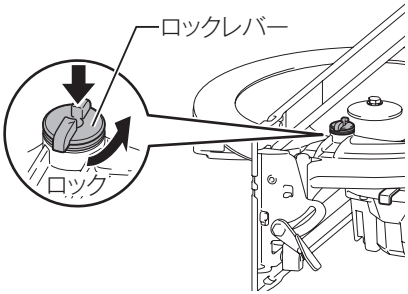

5. ノコ刃（チップソー）の矢印と本製品の矢印の向きを合わせます。
6. カバー開閉レバーをいっぱいまで引き、セフティカバーがブレードケースに収納された状態でノコ刃（チップソー）を取り付けます。
7. ノコ刃（チップソー）を取り付けたら、セフティカバーを元の状態に戻します。
8. アウタフランジを取り付けてから、六角穴付ボルトを取り付けます。



9. シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをします。
10. シャフトロックを押し込みながら、六角棒スパナ 6 を使用して、六角穴付ボルトを時計回りに回して締め付けます。

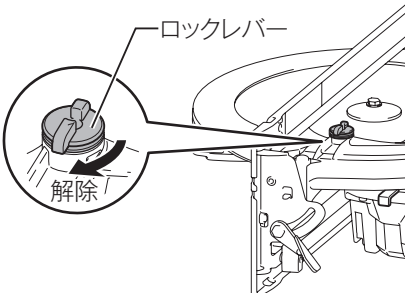



11. ロックレバーを押し込んで、反時計回りに回します。
・ ロックレバーがロックされます。ロックレバーがロックされると、切断時にノコ刃（チップソー）が大きく曲がるのを防ぎます。

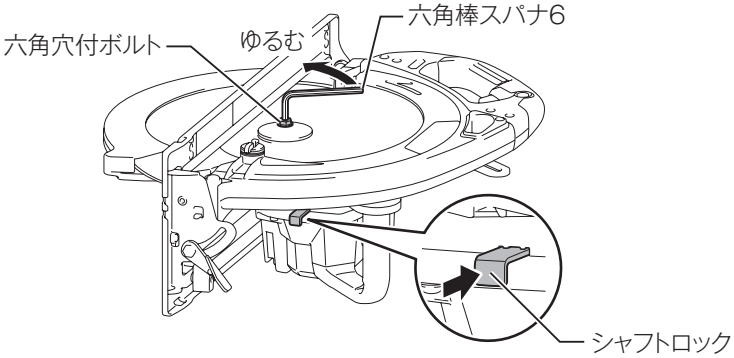



## 取りはずし方

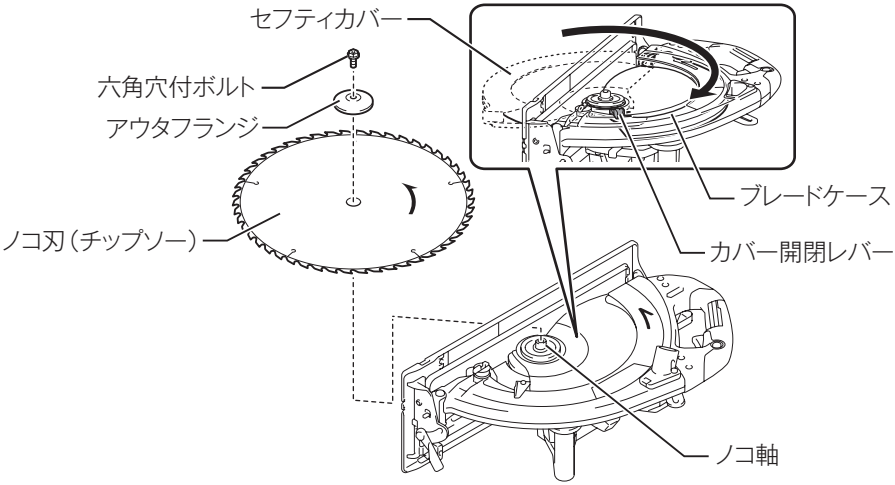
1. ロックレバーを時計回りに回します。
・ ロックレバーのロックが解除されます。
2. シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをします。



3. シャフトロックを押し込みながら、六角棒スパナ 6 を使用して、六角穴付ボルトを反時計回りに回してゆるめます。




4. 六角穴付ボルトとアウタフランジを取りはずします。
5. カバー開閉レバーをいっぱいまで引き、セフティカバーがブレードケースに収納された状態でノコ刃（チップソー）を取りはずします。



# バッテリの取り付け／取りはずし方法

## ⚠ 警告

**本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。**

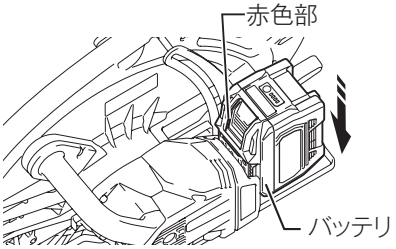
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

**バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。**

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

## ■ 取り付け方

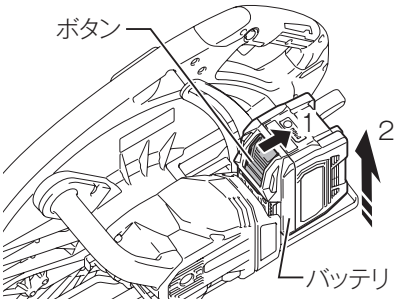
・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。




※イラストはBL4080Fの取り付け例です。

## ■ 取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



# 本製品の操作

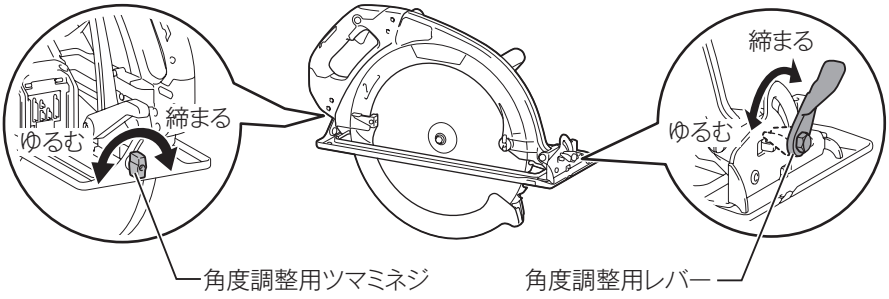
## 各部の調整

**⚠ 警告**

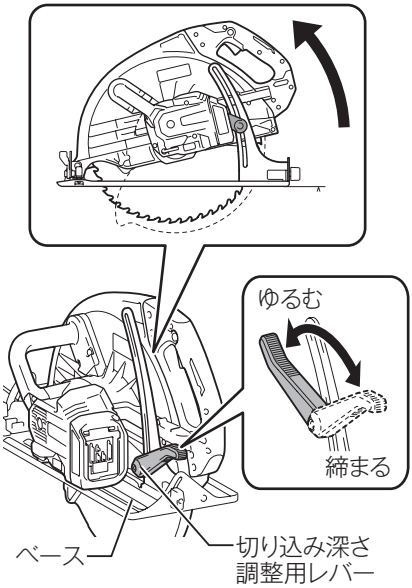
**各部の調整の際は、必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。**
・ バッテリを差したまま行うと事故の原因になります。

### ■ 切り込み深さ調整

1. 角度調整用レバーと角度調整用ツマミネジがしっかり締め付けられていることを確認します。




2. 切り込み深さ調整用レバーをゆるめ、ノコ刃をお望みの深さに上げ下げして調整します。
3. 調整後、切り込み深さ調整用レバーをしっかり締め付けます。

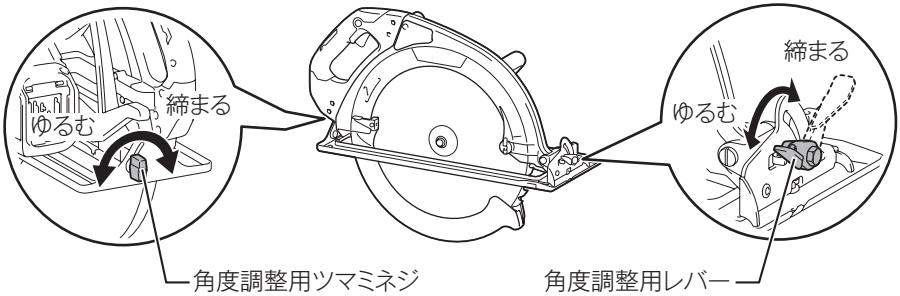


注

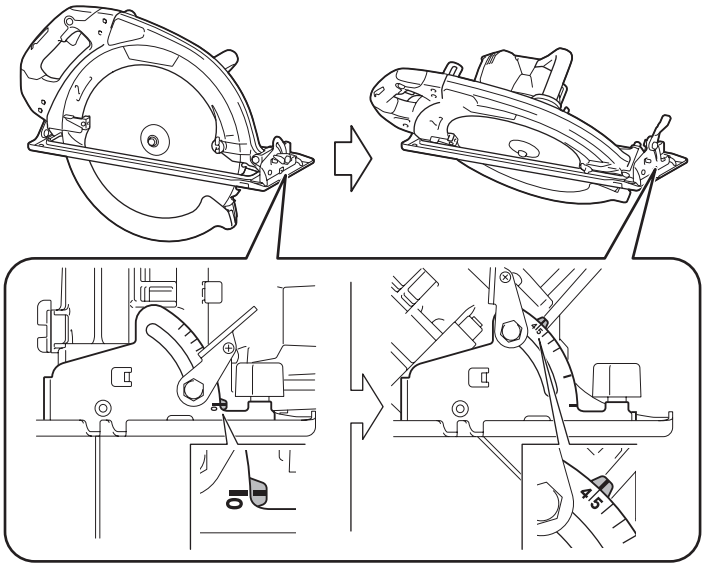
- 材料が薄いときは、切り込みを浅くしてお使いください。
- 切り込み深さ調整用レバー、角度調整用レバー、角度調整用ツマミネジをすべて一度にゆるめてしまうと、ベースがスムーズに上下しない場合があります。その場合は切り込み深さ調整用レバーをいったん固定し、角度調整用レバーと角度調整用ツマミネジを締め付けてから再度切り込み深さの調整を行ってください。

## ■ 傾斜角度の調整

1. 角度調整用レバーと角度調整用ツマミネジをゆるめます。




2. お望みの角度（0 °～ 45 °）に本製品を傾けます。

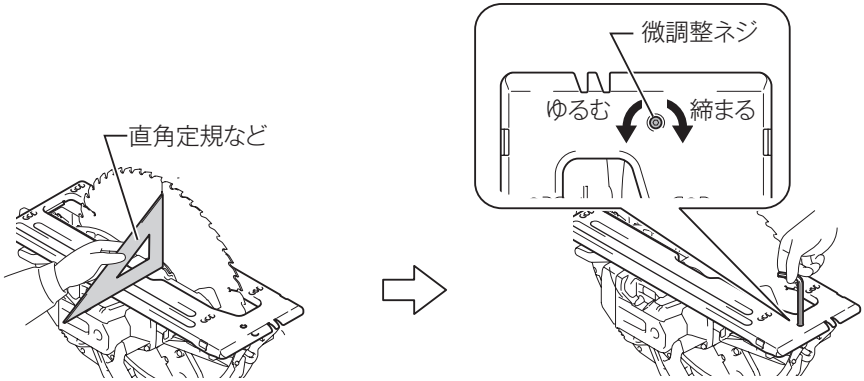



3. 調整後は、角度調整用レバーと角度調整用ツマミネジをしっかり締め付けます。

## ■ 直角切りの微調整

・ 本製品はノコ刃とベースの角度を正確に 90 °にできるように、微調整ができます。
・ 出荷時には 90 °になるよう調整してありますが、微調整ネジが動いて角度がずれているようでしたら、次のように調整してください。

1. 切り込み深さ調整用レバーがしっかり締め付けられていることを確認します（31 ページ参照）。
2. 角度調整用レバーと角度調整用ツマミネジをゆるめます（32 ページ参照）。
3. ノコ刃とベースの底面に直角定規やさし金などを当て、市販の六角棒スパナ 3 を使用して微調整ネジを回して直角になるように調整します。




4. 角度調整用レバーと角度調整用ツマミネジをしっかり締め付けます。
5. 再度、ノコ刃とベースの底面に直角定規やさし金などを当て、角度を確認します。
6. ベニヤ板などを試し切りして、不具合がないことを確認します（35 ページ参照）。

# スイッチの操作

## ⚠ 警告

**本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。**

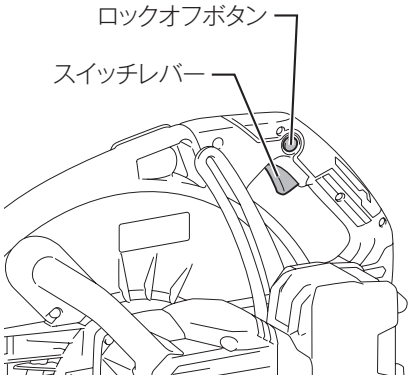
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと事故の原因になります。

## ⚠ 注意

**本製品はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本製品をしっかり保持してください。**

・ 本製品を落とすなどして、けがの原因になります。

・ ロックオフボタンを押し込んだ状態でスイッチレバーを引くと、スイッチが入ります。
・ スイッチが入った状態でロックオフボタンから指を放しても、スイッチは切れません。
・ スイッチを切るときは、スイッチレバーから指を放します。
・ スイッチレバーから指を放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



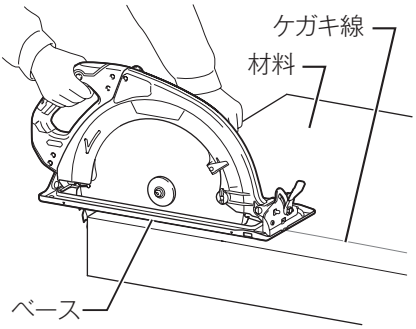
# 切断方法

## ⚠ 警告

**切断中に本製品をこじたり、強く押し過ぎたり、バックさせて切断したりしないようにしてください。**

・ モータに無理がかかるばかりでなく、強い反発力を生じ、けがの原因となります。

1. 材料の上にベースを載せてノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。
2. ケガキ線と位置を合わせます。
3. ベースを材料に密着させ、ケガキ線に合っていることを確認します。
4. 本製品をしっかり両手で保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇して安定していることを確認します。そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保って切断します。



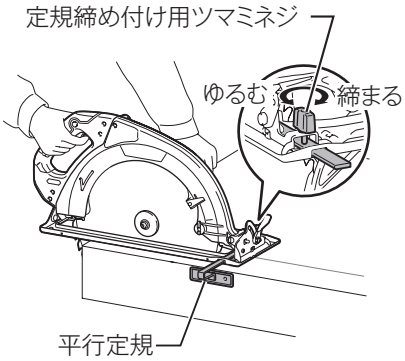

## 注

・ **材料が薄いときは、切り込みを浅くしてお使いください（31 ページ「切り込み深さ調整」参照）。**

# 平行定規の使い方

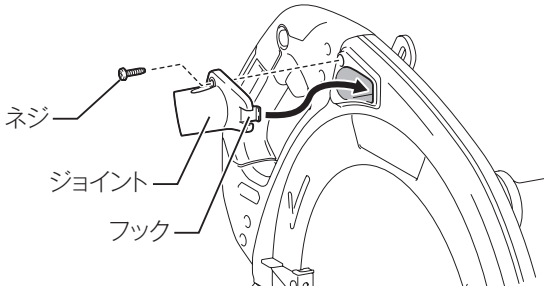
・ 平行定規は一定の幅で切断したいときに使用してください。
・ 平行定規は左右どちらでも取り付けることができます。

1. 平行定規を取り付けるときは、ベースの前部にある定規取り付け口に平行定規を挿し込みます。
2. 平行定規の側面を材料の側面にぴったりと付けて、定規締め付け用ツマミネジでしっかり締め付けます。



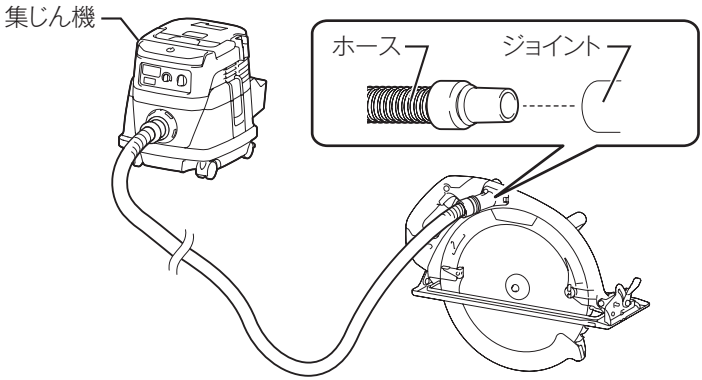
# ジョイントの取り付け

1. ジョイントのフックを本製品に引っかけて、ジョイントを本製品に取り付けます。
2. 市販のドライバでネジを締め付けます。




# 集じんホース（別販売品）の取り付け

・ 集じん機付属のホースを取り付けて使用します。



## ■ ホースの内径がφ 19 またはφ 38 の場合

・ 集じん機のホースを直接ジョイントに接続してご使用ください。

## ■ ホースの内径がφ 28 の場合

・ 集じん機のホースにカフスを取り付け、ジョイントに接続してご使用ください。

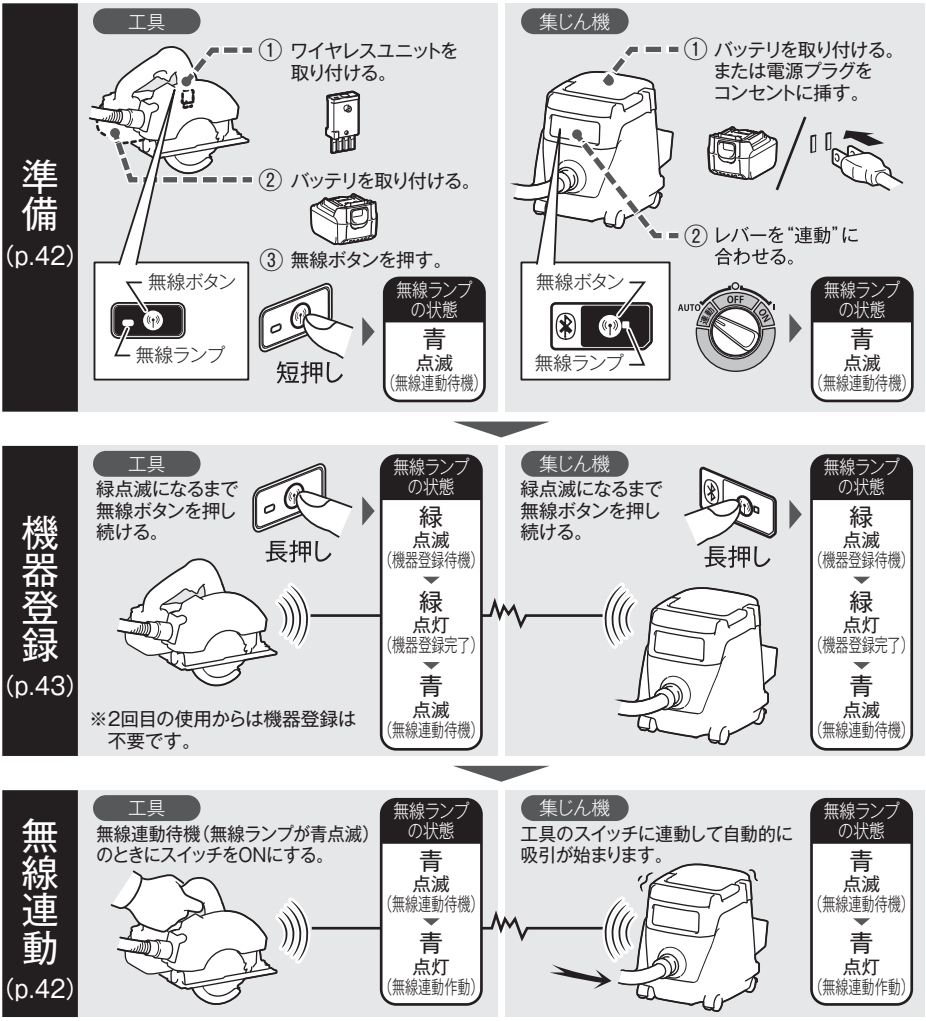
**注**

・ ホース 28（別販売品）には工具接続用にフロントカフス 22 と 38 を同梱しています。ジョイントの口サイズに合ったカフスを取り付けてご使用ください。

# 無線連動機能（AWS）

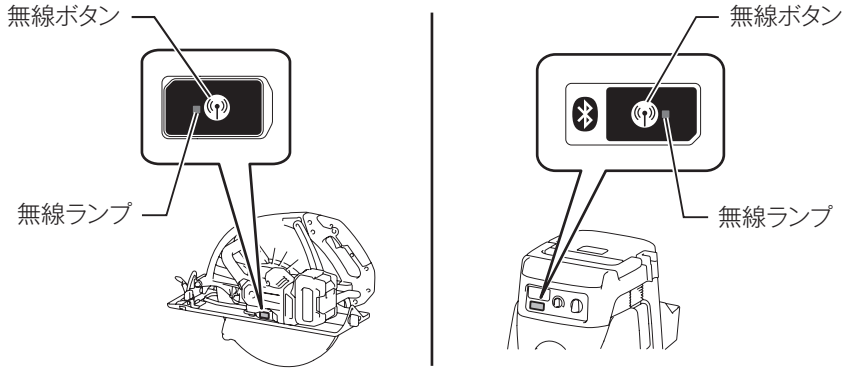
## 無線連動の手順概要

無線連動の大まかな手順は以下のとおりです。
工具、集じん機の操作はどちらが先でもかまいません。くわしい操作方法は各ステップの説明ページを参照してください。




※ 製品のイラストは参考例です。製品によりボタンや位置、その他デザインが異なります。
※ 無線ランプが青点滅中に、工具側の無線ボタンを短く押したり、集じん機側のレバーを連動以外にしたりすると無線連動が解除されます。

- 無線連動機能（AWS）を利用するには、無線連動機能に対応したマキタ純正工具と集じん機が必要です。
- 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
- 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。




## *Bluetooth*® について

*Bluetooth* のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

# ワイヤレスユニット(A-66151)の取り付け･取りはずし方

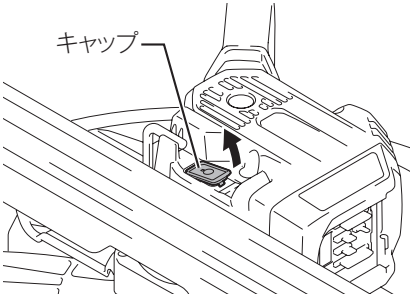
・ 無線連動機能を使うためには、工具にワイヤレスユニットを取り付ける必要があります。

注

・ ワイヤレスユニット取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。
  ・ バッテリを差したまま行うと、ワイヤレスユニットの故障原因になります。

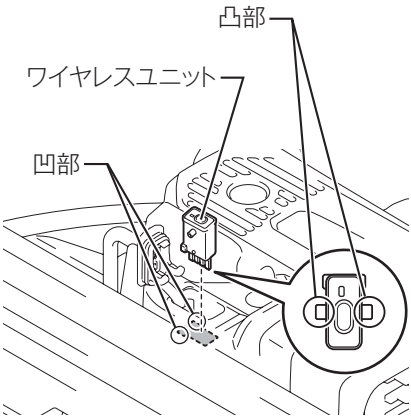
## ■ 取り付け方

1. キャップを開きます。



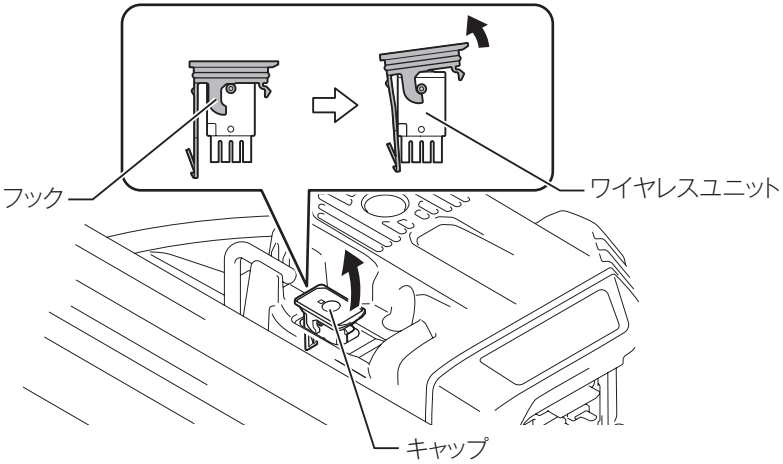

2. ワイヤレスユニットの凸部をスロットの凹部に合わせて挿入します。

3. キャップを閉じます。キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください。



## ■ 取りはずし方

1. キャップを開きます。
・ キャップのフックがワイヤレスユニットを引き出します。




2. ワイヤレスユニットを取り出して、専用ケースに保管します。
3. キャップを閉じます。

**注**

・ キャップは使用時も保管時も閉じておいてください。粉じんなどが入り、故障の原因になります。

## 無線連動の準備

1. 集じん機の電源スイッチを「連動（AUTO）」の位置に入れます。集じん機の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。
   「OFF（O）」の位置にすると電源が切れます。
2. 無線連動させる工具の電源を入れ、無線ボタンを押します。
   工具の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。

## 無線連動

1. 工具のスイッチを入れると集じん機が無線連動して集じんを行います。

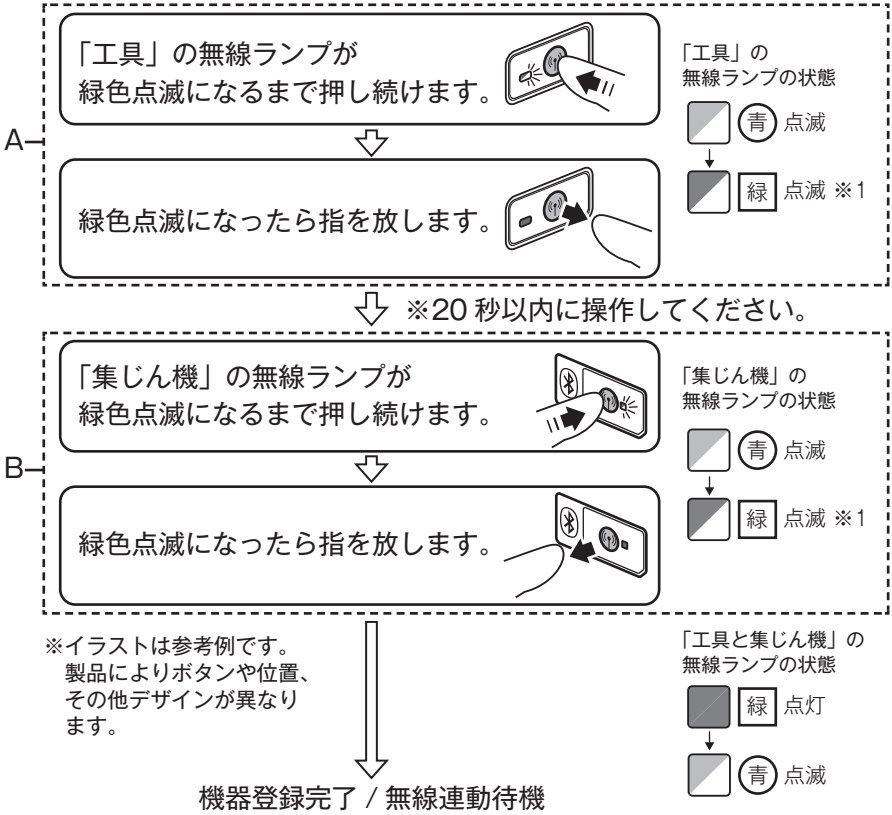
・ ワイヤレスユニットが機器登録済みであれば、集じん機が連動作動します。
・ 無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。

**注**

- 電源スイッチが「連動（AUTO）」の位置でも、操作スイッチで運転 / 停止ができます。ただし、無線連動運転中は操作スイッチでの運転 / 停止はできません。
- 工具のスイッチが入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- 工具のスイッチを切った後も、集じん機はホース内のゴミを吸い込むために数秒間運転してから停止します。
- 工具のスイッチを入れても無線連動しない場合はワイヤレスユニットを集じん機に機器登録してください（43 ページ参照）。

# 機器登録

- 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（42 ページ参照）。

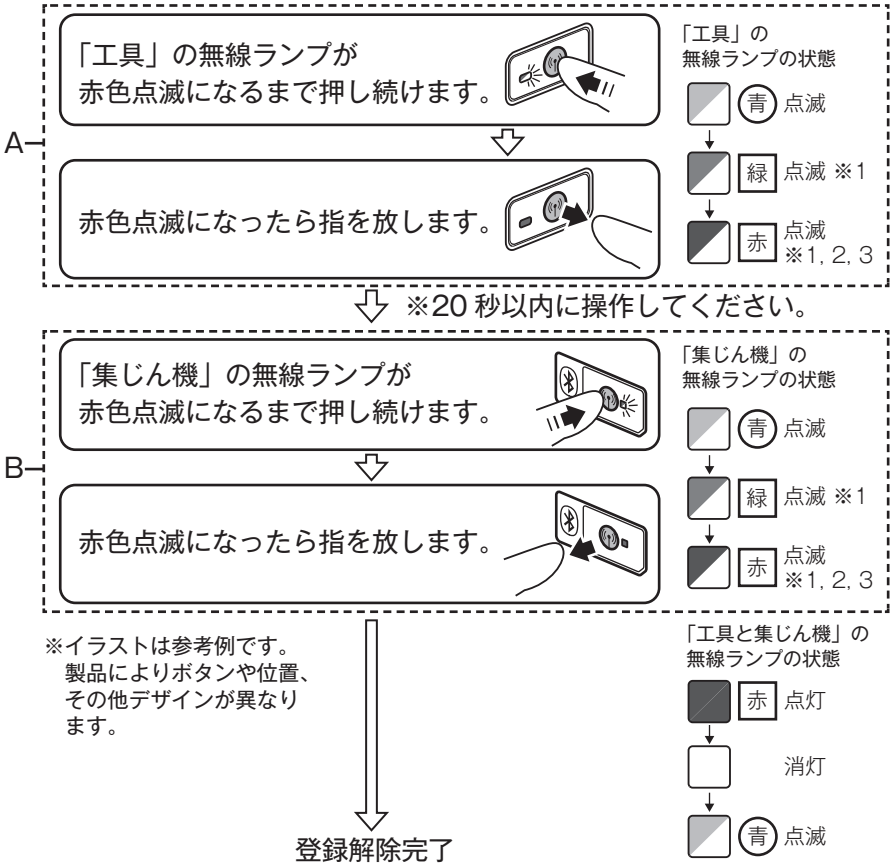



## 注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ※ 1：無線ランプが緑色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

# 登録解除

- 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（42 ページ参照）。

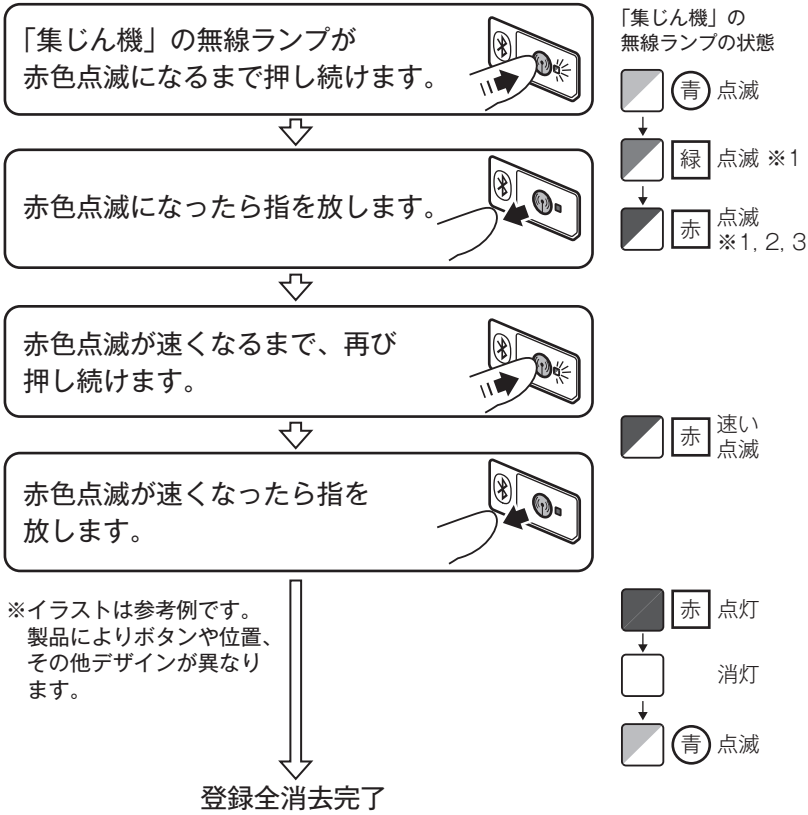



## 注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ※ 1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ※ 2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ※ 3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

# 登録全消去

- 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- 操作は集じん機のみで行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（42 ページ参照）。




## 注

- ※ 1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ※ 2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ※ 3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

# 無線ランプについて

<table>
<tr><th>基本モード</th><th>色</th><th colspan="2">点灯 / 点滅と継続時間</th><th>状態</th></tr>
<tr><td rowspan="4">待機</td><td rowspan="4">青</td><td rowspan="3">点滅</td><td>集じん機：<br>連動（AUTO）時</td><td rowspan="2">機器登録の待機中です。</td></tr>
<tr><td>工具：<br>電源を入れ、無線ボタンを押したとき</td></tr>
<tr><td>機器登録の完了後</td><td>無線連動の待機状態です。</td></tr>
<tr><td>工具：約 2 時間</td><td>無線連動機能が利用できます。<br>無操作の状態が 2 時間続くと消灯し、無線連動機能を停止します。</td></tr>
<tr><td></td><td>点灯</td><td>運転中のみ</td><td>無線連動機能中です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機器登録</td><td rowspan="2">緑</td><td>点滅</td><td>約 20 秒間</td><td>機器登録の準備中です。<br>登録する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>約 2 秒間</td><td>機器登録が完了しました。<br>その後、青色の点滅になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">登録解除・登録全消去</td><td rowspan="3">赤</td><td>遅い点滅<br>（2 回 / 秒）</td><td>約 20 秒間</td><td>登録解除の準備中です。<br>登録解除する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。</td></tr>
<tr><td>早い点滅<br>（5 回 / 秒）</td><td>赤色の点滅後に、再び無線ボタンを押し続けたとき</td><td>登録した工具（ワイヤレスユニット）を全消去する準備ができました。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>約 2 秒間</td><td>登録全消去が完了しました。<br>その後、青色の点滅になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>赤</td><td>点灯</td><td>約 3 秒間</td><td>無線連動機能の起動中です。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>ー</td><td>ー</td><td>無線連動機能が停止しています。</td></tr>
</table>

**注**

- 無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

# トラブルシューティング

| 症状 | 原因 | | 対策 |
|---|---|---|---|
| 無線ランプが点灯 / 点滅しない。 | 工具 | ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。 | ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。<br>⇒ 40 ページ参照 |
| | | ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。 | ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。 |
| | | 工具の無線ボタンを押していない。 | 工具の無線ボタンを押してください。<br>⇒ 42 ページ参照 |
| | 集じん機 | 集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。 | 集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。<br>⇒ 42 ページ参照 |
| | 共通 | 集じん機、または工具の電源が入っていない。 | 集じん機、工具ともに電源を入れてください。 |
| | | バッテリの容量が少ない。 | バッテリを充電してください。<br>⇒ 21 ページ参照 |
| 機器登録 / 登録解除ができない。 | 工具 | ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。 | ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。<br>⇒ 40 ページ参照 |
| | | ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。 | ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。 |
| | 集じん機 | 集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。 | 集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。<br>⇒ 42 ページ参照 |
| | 共通 | 集じん機、または工具の電源が入っていない。 | 集じん機、工具ともに電源を入れてください。 |
| | | 操作手順の間違い。 | 無線ボタンを短く押してからやり直してください。<br>・機器登録⇒ 43 ページ参照<br>・登録解除⇒ 44 ページ参照 |
| | | 工具と集じん機が離れすぎている。 | 工具と集じん機を近づけて操作してください（最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します）。 |
| | | 機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。 | 機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。<br>・機器登録⇒ 43 ページ参照<br>・登録解除⇒ 44 ページ参照 |
| | | 集じん機、工具の片方のみの操作しかできていない。 | 集じん機と工具の両方を操作してください。 |
| | その他 | 周囲に強い電波を発する機器がある。 | Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。 |

| 症状 | 原因 | | 対策 |
|---|---|---|---|
| 集じん機が動かない。 | 工具 | ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。 | ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。<br>⇒ 40 ページ参照 |
| | | ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。 | ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。 |
| | | 工具の無線ボタンを押していない。 | 工具の無線ボタンを押して青点滅になってから、スイッチを入れてください。 |
| | 集じん機 | 集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。 | 集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。<br>⇒ 42 ページ参照 |
| | | 集じん機の機器登録が10台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。 | 再登録をしてください。<br>・機器登録⇒ 43 ページ参照 |
| | | 機器登録が全消去された。 | 再登録をしてください。<br>・機器登録⇒ 43 ページ参照 |
| | 共通 | 集じん機、または工具の電源が入っていない。 | 集じん機、工具ともに電源を入れてください。 |
| | | 工具と集じん機が離れすぎている。 | 工具と集じん機を近づけて操作してください（最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します）。 |
| | | バッテリの容量が少ない。 | バッテリを充電してください。<br>⇒ 21 ページ参照 |
| | その他 | 周囲に強い電波を発する機器がある。 | Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。 |
| 工具のスイッチまたは集じんボタンを操作しないときに、集じん機が動く。 | 集じん機 | 機器登録した、ほかの工具が集じん機と無線連動している。 | ・使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒ 44 ページ参照<br>・登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。<br>・登録全消去⇒ 45 ページ参照<br>・機器登録⇒ 43 ページ参照 |
| 登録全消去ができない。 | 工具 | 工具側を操作している。 | 登録全消去は集じん機のみで行えます。<br>⇒ 45 ページ参照 |
| | 集じん機 | 集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。 | 集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。<br>⇒ 42 ページ参照 |
| | | 操作手順の間違い。 | 無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒ 45 ページ参照 |

・ 上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

# 使用後の取り扱い

## ⚠ 警告

**ご使用後は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。**
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

# 本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

## 注

- **水洗いは絶対にしないでください。**
  - 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

# 保守／点検

## ⚠ 警告

**保守、点検の際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。**

・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

**症状**

- 本製品が停止する
- 始動しない

**原因**

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

**解消方法**

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 23 ページ参照。

## ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

# メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881K61B3
CRE